

従業員向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	ミーティングやカンファレンスなど全体で話し合いを行う時間が少なく感じる
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	業務中に思ったことが言える環境だが、毎日必ずではない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	不明	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	公園あそびの際などにはあると思う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		不明
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	閉ざしてはいないと思う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		

保護者向け

## 児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する保護者の方に、事業所の自己評価していただくものです。  
「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入するとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4				安心して預けられています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされていると思いますか。	4				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4				広々としていて気持ちよく過ごせていると思います。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1			まだ利用して日が浅いためこの回答としました。日中の過ごし方は合っていると思います。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4				親身になっていると思います。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもの保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	4				
	8 児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4				
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1		1	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2			2	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4				連絡帳や口頭により意見共有ができていると思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				よくお話を聞いてもらえています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		1	2	
	19 こどもや家族からの相談の申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1	
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4				
22 個人情報の取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非 常 時	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2		1	1	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				

時 等 の 対 応	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4				
	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	3			1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3			1	活動中の写真を見るととても楽しそうです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				よく話を聞いてくれ、こちらの事情に合わせてもらえていると思います。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児多機能型デイサービスPolaris		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 20日		2026年 4月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2025年 3月 20日		2025年 4月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	どんな利用者でもそれぞれの安全を考慮し、室内外の遊びを考えていくことができる。	現場優先として、やりたいこと、やらせていきたいこと、行きたいところ、行ってみたいところの活動ができるように配車、配置をしている。	スタッフミーティングを増やし、個々の特徴目的意識の共有を図っていく。
2	ここまでしかといった線引きをせずに、どうしたらできるかをスタッフみんなで考えていくことができる。また他の事業所との連携を図り子どもたちのことをともに考えていくことができる。	季節のイベント、地域のイベント情報をキャッチし参加、見学にしている。	勉強会等に参加し、外界での情報学びを深めていく。
3	利用児・その家族の意向を踏まえた支援を考えることができる。	事業所だけではなく、利用児・家族からの情報をもとに活動を考えていく。	物品等を揃え、活動しやすいような環境づくりを行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	物品等の不足、活動スペースが狭くなってしまうことがあること。	バギー等大きなものの置き場がなくスペースがつぶれてしまっているところがあること。	倉庫の購入、不要な物の整理整頓をしていく。
2	利用児が増えていたことで全体のミーティング時間が確保しにくくなっていること。	月～金まで安定して利用児童が多くなり、まとまった時間がとれなくなってきている。	家族に事前に断りを入れて置き、1日しっかりとまとまった時間を作るようにしていく。
3	毎日を通してのスケジュールが不安定であり、安定化が図れていない。※臨機応変に活動は行えている	1ヶ月単位での制作や活動は考えられているものの、毎日の活動の主となるスタッフが決められていない。	活動の中心となる保育士・児童指導員での話し合いの機会を増やし決めていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		重症児多機能型デイサービスPolaris		公表日		2026年 4月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1階の外のスペースや、2階等空いている個所を活用している。	大きな荷物を置く倉庫の購入をすすめていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		1対1または、-1程度での配置をしている。動きがある、ないで利用児の個性で判断している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		車椅子、バギーのスロープの購入や土台の作製をしたり雨に当たらないようなものを使い環境を整えようとしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		加湿器、空気清浄機等を購入し、出来ることから始めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		全ての部屋に冷暖房を完備した。	認めてはいるものの、活用にはまだ至っていない。積極的に活用につなげられるようにしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○		PDまではできているが、CAにまだ到達できていない部分があるためミーティングの場を設けていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	△		今回初めての保護者評価であり改善につなげていくようしていきたい。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		△	部度相談できるよう声掛けはしている。	まとまった時間作りができていないため必要と考える。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部と積極的に話しているが、業務改善等の内容ではない。これから取り入れきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部のイベントを都度お知らせしている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに掲載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		スタッフのいる場で保護者とともに話し合いの場を設け、スタッフにも共有できるようにしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		不足している部分があるため、支援計画にその他スタッフの確認項目欄を作った。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	△	△	いつでも支援計画が見れるようにファイルに閉じている。	各自での共有事項となっているため全体で把握できているかどうか不明な点がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化されたツールを今後検討していく予定。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを読み、必要項目を埋め作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		立案には至っていないが、徐々に作成していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々安定はできていない分、固定化はされていない。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		その日の利用児に応じて、室内外で遊びを考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		△	長期休み等は行うようにしている。	スタッフの出勤時間がバラバラであるため難しさもあるができるだけ限りに行ってきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		△	特別な時、問題発生時には行うようにしている。	スタッフ退勤時間がバラバラであるため難しさもあるができるだけ限りに行ってきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は必ず記載し、項目数も多く作っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		代表とその場の出勤スタッフで参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援、市役所、嘱託医等様々な機関と連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育園に通う児童があり、保育園とのやりとりで情報を共有した。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		学校より依頼があり、支援についての会議に参加した。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		イベント等地域のものには積極的に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		共通の利用児童がいる園と積極的に行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や活動写真等を通して行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず伝えるようにしている。	支援プログラムについての説明に丁寧さはかけていた。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者が目的欄を記載してもらっている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		確認後サインをもらうようにし、変更点は変更している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		声掛けする場合もあるが、直接来た場合には必ず対応をしている。わからない点はその分野の知るスタッフ等へ相談している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今後就学相談等行っていく予定。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	声掛けする場合もあるが、直接来た場合には必ず対応をしている。わからない点はその分野の知るスタッフ等へ相談している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	活動写真は都度送るようにしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	写真等の顔が映るものは都度スタッフに注意喚起をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	言葉遣い、タイミングは気を付けるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		弊社主体での行事はまだ発進できていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	監査でも必要な項目でもあり実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	監査でも必要な項目でもあり実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	事前情報の記載する書類を送っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	必ず記載してもらうようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	監査でも必要な項目でもあり実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時に必要書類を記載してもらい対応できるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	起こった際には、記録するようにしている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	自己学習を主に行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	初回のミーティング等で話すようにしている。		